

# 1

## ホザナ王のイエス

ホザナ ホザナ王の王イエス  
喜び迎えよ イエスが来られる ×2

とわ  
永遠に共に (Lyra のクリスマスソング)

あなたの微笑みは暗闇の中の光  
静かにたたずむ 荒地に咲いたバラのよう  
に  
あなたは平和の君としてこの世に来られた  
憎しみ 妬みが うずまくこの世界に

誰の祈りも届かぬような 無力さの暗闇に  
打ち勝つ光が来られた

インマヌエルと呼ばれる救い主は  
今日もこれから先も我らと共にある  
この安らぎと温かな喜びは  
誰も決して奪えはしない永遠に

## 救い主イエス

その時御前に立つ 愛する聖徒と共に  
ありのままのイエスの姿 驚き仰ぎ見る

※ 礼拝します唯一の神 救い主イエス  
あなただけが私の希望 永遠の命

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4～7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1～4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように  
＝教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように  
＝ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

## 5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアの戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

## 信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」  
「日本にはリバイバルが始まっています」  
「私も用いられます」  
「すべての問題は解決します」  
「することなすこと、みな成功します」  
「私のまわりには奇跡が起こります」  
「すべてのことを感謝します」  
「イエス様がご一緒ですから」  
「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
牧師：倉知契 [kei.kurachi@gmail.com](mailto:kei.kurachi@gmail.com)



## 祈りの小径(こみち)

Number: 185 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2

### 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

マタイによる福音書1章18～25節

18 イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。19 夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようと決心した。20 彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。21 彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。22 すべてこれらのことが起ったのは、主が預言者によって言われたことの成就するためである。すなわち、23「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。24 ヨセフは眠りからさめた後に、主の使が命じたとおりに、マリヤを妻に迎えた。25 しかし、子が生れるまでは、彼女を知ることはなかった。そして、その子をイエスと名づけた。

## 3

### 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

## 4

### みことばの解説

ヨセフの人生を決定したのは、彼が自分の判断で最善と思って「ひそかに決心した」ことではなく、夢の中で主の御使いが告げたことばでした。その内容は12/3(日)の礼拝メッセージで詳しくお話ししたので、ぜひお聴きください。



「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。(マタイ1の20)」は私たちに教えています。【主に愛されている皆様。神のみ旨(御心)ならば、心配しないで、神を信頼して、いま直面している物事を心に迎え入れなさい。】

また岩本遠億先生の書物から、  
『私たちは神様が与えてくださった特定の人、神様が出逢わせてくださった絶対的に大切な人のために生きるのが誤りなき道である！』ことと、  
最後にこう問い掛けられました…

あなたが守らなければならない人は誰か。あなたがあなたの存在を賭けて大切にしなければならぬ人…神様は必ず教えてくださいます。

ヨセフがその時代にあって大切なマリヤと幼な子を守り抜いて生きたように、私たちは委ねられた「福音(Good News)」と「信仰告白」を守り抜き、世の人々に語り聞かせ、次世代につないでゆかなければなりません。

さあ、いよいよクリスマスです！インマヌエルなる主のご臨在を感じながら、感謝と平安に溢れますように。またこの喜びを誰かとシェアし、分かち合いながらXmasを迎えることができますように、熱い祈りをお捧げします。